

中山道おしながき④

小野の滝



編集・印刷:上松観光開発有限会社

画像提供:上松町、上松町観光協会

中山道の名瀑、小野の滝。現在の国道19号線から間近に眺められるこの滝は、中山道を旅した人々に一服の涼を供してくれた場所です。

木曾路を訪れた旅人に与えた印象は大きく、歌川広重・溪斎英泉が1835年頃に完成させた浮世絵「木曾街道六拾九次」では、上松宿の姿は小野の滝の情景が描かれました。

また池井祐川父子の版画や、上洛途中に木曾を歩いた土方歳三の和歌「志ろたえに み類ひとすじは手都くりの それとまがふをのの瀧つせ」にも、名瀑の名に違わぬ情景が留められています。

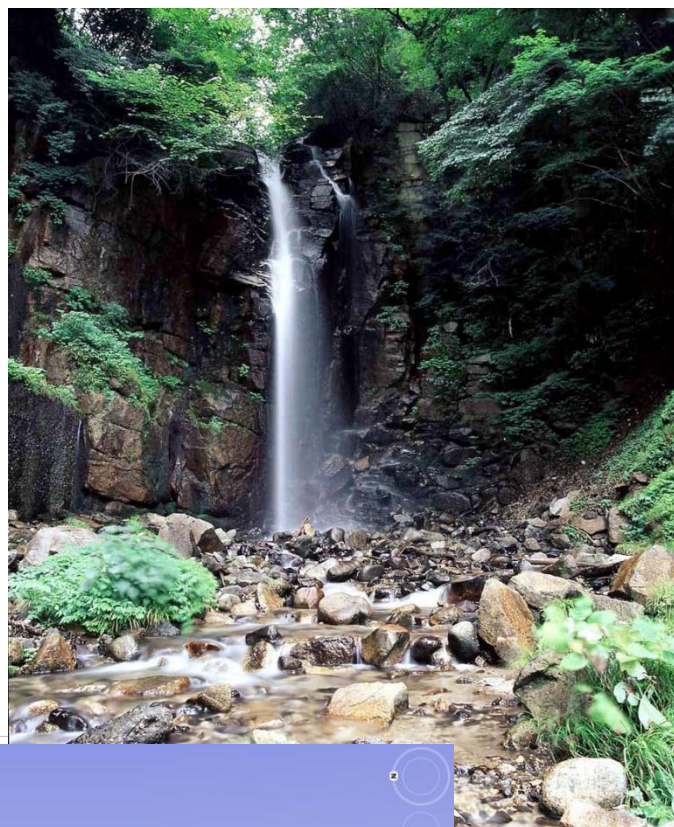
現代でも中山道ウォーキング愛好家や木曾八景を辿る学生が立ち寄り、当時と変わらない白い流れを愛でています。

上松駅から南へ約3kmの木曾川沿いに、小野の滝はあります。中央アルプス木曾駒ヶ岳のふもと、風越山の裾野を源流とし、落差約15mの穏やかな佇まいを見せてくれています。

国道沿いに車を止めて気軽に楽しむことができ、特に夏にはマイナスイオンたっぷりの涼風が心身を癒してくれます。

冬期には真っ白に氷結した姿が迫力。凍結の最盛期は諏訪湖の御神渡りとほぼ同じ、1月中旬～2月上旬頃です。

(右:真夏の涼しげな小野の滝の姿、下:小野の滝周辺の鳥瞰図)



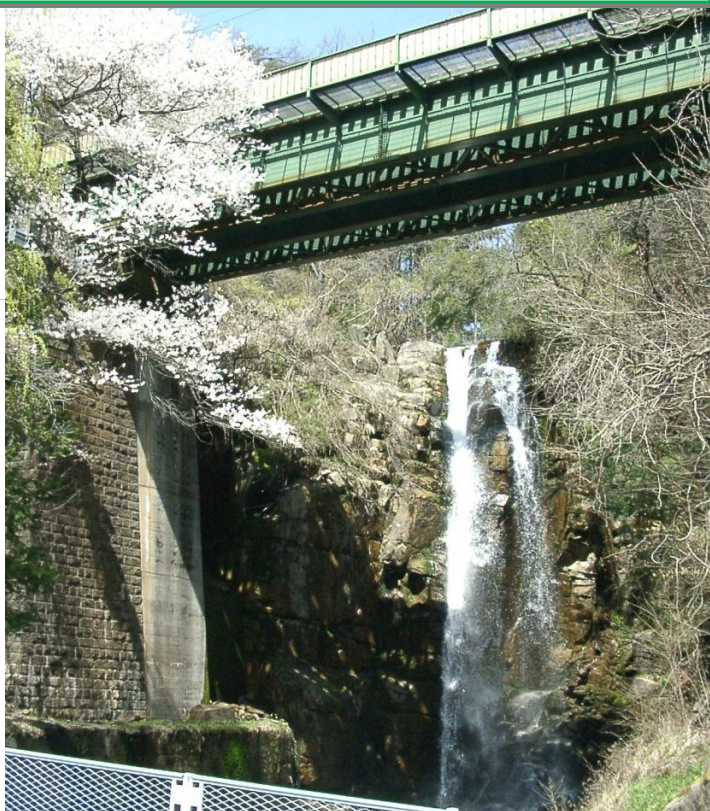
小野の滝 見どころ

【小野の瀑布】…木曾八景

小野の滝は中山道木曾八景にも数えられています。上流に大きな集落を持たない川の流は昔からほとんど変化していないと思われます。しかし時代の流れで眼前の中山道は国道19号線になり、滝の頭上にはJRの軌道が架けられました。国道からは間近に見られる滝の姿ですが、鉄道の車窓からは流れの上部が辛うじて見られるだけです。

冬は凍り、春には桜、夏には緑、秋は紅葉と、四季折々の趣を楽しませてくれる木曾路の風景美のワンポイントです。

(左:5月、新緑の季節 右:4月、桜の花とともに)



【中山道の姿はどこに…?】

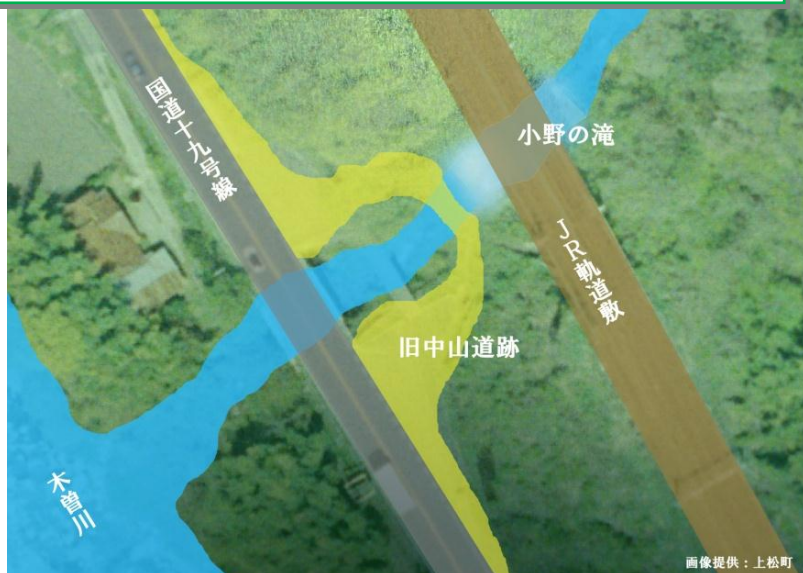
国道19号線はスピード社会を反映して直線状に施工されていますが、徒歩で旅した中山道は、小野の滝のどの辺りを通していたのでしょうか。

古い公図には、中山道の跡とみられる地籍が残っています。道筋は現在の国道よりずっと滝つぼに近く、小野の滝の迫力を、より間近に満喫できたことでしょう。左の「木曾街道六拾九次 上松宿」の情景からも、その様子が思い浮かびます。

(下:旧中山道地籍のイメージ、 左下:荻原地区の鹿島社例祭)



鹿島社例祭 写真:宮戸浩吉氏



画像提供:上松町

…正確な道路地図、各地の伝承などは、上松町総合パンフレット「旅する」を併せてご参照下さい。

上松観光開発有限会社 ねざめホテル: 0264-52-2245